

※ 下氷鉤小学校運営の方針・・・全教育活動を通して、児童一人ひとりの個性・能力を伸ばすとともに、敬愛の心を培い、人間性豊かな児童の育成に努める

長い2学期もすでに終わろうとしています。初冬の11月12月にも充実した学習を展開することができました。

6年生、理科センター学習に行ってきました。

6年生は11月20日、21日と2日間、2クラスずつ八幡原の理科センターで学習をしてきました。一日まるまる理科に親しむ、理科に夢中になる、科学を楽しむ一日を過ごしてきました。「堆積実験」「天体学習」「顕微鏡」「岩石化石」の4つの学習をしてきました。顕微鏡で見る微生物や花粉の形や色や動きに感動したり、泥岩、頁岩、砂岩、礫岩、凝灰岩を水に入れ、溶けたり泡がでたりする変化に驚きを持って見たりしました。帰りには、「理科がもっと好きになりましたか」の質問に多くの6年生が「ハイ」と答えていました。

クラブが終了しました

4月から活動したクラブも12月3日に終了しました。4年生から6年生まで、年間十数回のクラブの活動を十分に楽しみ頑張った事が各クラブの展示やビデオ発表よりうかがえました。会議室に展示された「押し花」「イラスト」「書道」「家庭科」「パソコン」クラブでは子どもたちの力作が飾られ、その成果が感じられました。

ビデオで発表したクラブにおいても、活動の様子を自信を持って紹介する姿に一年間の成果と充実ぶりが感じられました。囲碁将棋クラブなど地域の外来講師の方にも来ていただいて学ぶこともできました。

心より感謝申し上げます。

「一志一道」の書をいただきました。

11月26日、前農林水産大臣の若林正俊さんの下氷鉤小学校時代の同級生5名の皆さんが来校して下さり、若林さんの書をぜひ学校に寄贈したいと、お持ちくださいました。若林さんは、本校を昭和21年に卒業され、ご存じのように、衆議院議員参議院議員と国会で活躍されている下氷鉤小学校の先輩です。第二体育館にも寄贈された校歌の歌詞が掲額されています。直筆で『一志一道』とあり後輩たちへの願いが込められているように思います。この書のように下氷鉤小の子どもたち全員が志を高く持ち自分の道を決め、その夢の実現に向かって進んでほしいです。温かく支援して下さる方々の思いを大切にしていきたいと思います。



異学年の交流盛ん「わくわくランド」・「かさこ地蔵」

昨年に続き2年生と1年生が交流し、2年生の作った「わくわくランド」で1年生が遊ぶという楽しい活動が行われました。2年生は工夫したコーナーをいっぱい作っていました。輪投げ、まどあて、あやとり、つり、すごろく、ビンゴ・・・看板もとてもきれいに作ってありました。1年生にやり方を丁寧に説明している姿がたくさん見られました。1年生もその説明をよく聞き2年生と共に楽しそうに夢中になって遊んでいました。してもらったことは、次にやってあげたい気持ちになり、次年度へとつながっていくように思います。異学年の交流はとても有意義であることが子どもたちの微笑ましい姿から伺えました。

また、2学期の学習のまとめとして5年行組のみなさんが、3年正組や3年和組を招待し、「かさこじぞう」のパネルシアターの発表をしました。リコーダーや歌を交え、全員でチームワークよく発表していました。取り組んできたことを、多くの人に見てもらい聞いてもらうという活動は、多様な力を伸ばすことにもつながり異年齢交流活動の素晴らしさも感じました。これからも、互いに学習の成果を共有しあう場を広げていけたらと思います。



5年生、正月飾りづくりに挑戦!

5年生が正月飾りづくりに挑戦しました。祖父母の会の皆さんにお願いしたところ、地域のしめ縄づくり指導をされている方々に声をかけてくださり、総勢15名の方が来てくださり、ゴボウ締めにも挑戦することができました。

「お米のとれた藁を使って1年の収穫に感謝してつくり、飾るんだよ」と教えていただきました。みんな悪戦苦闘して作った自分の作品に満足、「家へもって行って飾る」「おじいちゃんにあげる」といって大切に持ち帰っていきました。

「藁」は「木よりも価値が高い草」と書き、用途も広く利用価値の高いものだそうです。藁縄、草鞋、肥料、藁灰、保温、納豆づくり・・・江戸時代は道に落ちている藁を集めて売ってお金にする人がいたほど価値があったそうです。

おかげさまで日本の大切な伝統文化を体験できたことに感謝申し上げます。



全校でエアロビクスをしました。

11月と12月に全校運動でエアロビクスに取り組みました。講師の塚田佳代子さんの指導のもと低学年高学年2回ずつ実施しました。「とにかく、もっと体を動かせたい。横にふる動きを多く入れてみよう」という塚田さんの工夫で、子どもたちは楽しくリズムカルに動き、寒さをふき飛ばしていました。小さいうちからやっていると体を動かすことが抵抗なくできるようです。新指導要領では低下してきた子どもたちの体力運動能力に危機感を持ち、体育の授業時数も増えます。全校運動も今年は月3回のペースで実施しています。「運動が楽しい」と思いながら、運動能力を高める活動をしていけるとよいです。